

## 拓大ボクシング部・中洞監督に聞く／BOX

2016.4.25 14:13

橙色のトランクスに黒いベルトライン。硬派なイメージの拓大ボクシング部は、プロボクシングで日本人初のWBAスーパー王者に認定された世界スーパーフェザー級スーパー王者・内山高志(ワタナベ)、三階級制覇の現IBFライトフライ級チャンピオン・八重樫東(大橋)、ミュンヘンオリンピックベスト8でプロでは「KO仕掛人」と呼ばれた、元WBCスーパーバンタム級チャンピオン・ロイヤル小林(国際)、アマチュアボクシング界の伝説、三浦国宏ら多数のオリンピック選手も輩出している。5月14日(土)に開幕する関東大学ボクシングリーグ戦を前に、中洞三雄拓大ボクシング部監督に話を聞いた。(岩崎仁)

### ―今年目標は

中洞監督「もちろん目標は優勝だが、日大と農大の戦力が充実しているように思う。最善を尽くしてリーグ戦に臨みたい。1部校は全チームライバルだ」

### ―チームの雰囲気は

「明るく楽しく、そんな中でハードな練習をしているチームだ。特徴的なのは、サーキットトレーニングや筋トレをチーム全員で行うため、苦しい時こそ部員同士で声を掛け合っている」

### ―今年チームのキーマンは

「新主将のフライ級・笹川遊(加茂農林)と全日本ランキングバンタム級6位の竹嶋宏心(守山)だ」

### ―警戒する対戦相手などは

「リーグ戦は個人戦と違いトーナメント戦ではなく、一発勝負のため、どの学校もチーム力を結集してくる。対戦する相手も相当な気合を入れて臨んでくるため、実力以上の力を発揮する選手が多く、相手が誰であっても油断できない」

### ―練習メニューや部員の日常生活は

「八王子国際キャンパス内に練習場と体育寮がある。6時に起床し、6時半から8時まで裏に高尾山がある自然豊かなキャンパス内をロードワーク。8時半から9時まで体育寮内で朝食、その後授業に参加する。文京キャンパスがメインの政経学部と商学部でも、卒業に必要最低限の単位は八王子キャンパスで取得できるようになっている。春休みや夏休み等の長期休暇は3部練習などの別メニューでハードだ。そんな中でも皆で声を掛け合って、明るく楽しい練習を心掛けている」

「リーグ戦出場選手は普段の練習と、個人戦での結果、コーチとともに対戦相手のメンバーを考慮しつつ、私が最終決定する。対戦校のエースに拓大のエースを当てずに、多少階級を変更してでも確実にチームとして9人中5人以上が勝利する方法を考える」

### ―高校生のスカウト活動について

「鈴木大輔ヘッドコーチを中心に全国大会、地方大会で活動。各地方のOBの協力も得ている。毎年8名前後の新入部員が入部している。過去には岐阜県、青森県出身者が多かったが今は全国から集まっている」

### ――コーチ陣等の指導体制は

「鈴木大輔ヘッドコーチ、星野大輔コーチ、アドラー心理学者の梶野真メンタルコーチ、『エディ・タウンゼント賞』受賞の島田信行特別トレーナーといった体制だ」

### ――学生時代にボクシングに取り組む学生に対して

「ボクサーである前に、学生である。最高学府で学び、それに伴う教養と品格を身につけることが最大の使命であることを自覚させたい。なお、世界王者の八重樫東は学業成績も優秀だった。学生は『未来はきっとこうなるだろう』と思っているかもしれない。『明日やればいいや』と思っていると、いつまで目標が先延ばしになるもの。目標を達成するためには、今を必死に生きてほしい」

### ――監督にとっての関東大学ボクシングリーグ戦とは

「青春の全てだったような気がする。今でもリーグ戦での戦いは昨日のように思い出せる。母校の名誉、自分のプライド、そして、自分の夢を後樂園ホールのリングにかけていた」

### 拓殖大学ボクシング部

1947年設立。関東大学ボクシングリーグ戦優勝回数は10回

### 中洞三雄監督

1959年12月16日生まれ。岩手県立宮古水産高校出身。選手歴はインターハイライトフライ級準優勝、関東大学ボクシングリーグ戦13勝2敗、国民体育大会・成年の部優勝3回、全日本社会人選手権優勝、東ドイツ国際トーナメント大会日本代表3位、北朝鮮平壤国際トーナメント大会日本代表3位。指導歴はモスクワ世界選手権大会全日本チームコーチ、北京アジア大会全日本チームコーチ、バルセロナオリンピック全日本チームコーチ